第１号議案　　2009年度事業報告

Ⅰ　会員の異動状況　　（2009年12月14日現在）

1.　会員の異動

	前年度末	入会・就任	退　会（会費滞納による退会を含む）	物故者	現在数
⑴ 正 会 員	23,770 名	487 名	30 名	24 名	24,203 名
⑵ 名誉会員	28 名	2 名	0 名	0 名	30 名
⑶ 特別会員	47 名	0 名	0 名	0 名	47 名
⑷ 賛助会員（法人）	83 名	4 名	0 名	－	87 名

2.　役員・職員の異動

	前年度末	就　任	退　任	物故者	現在数
⑴ 理　　事	20 名	0 名	0 名	0 名	20 名
⑵ 監　　事	2 名	0 名	0 名	0 名	2 名
⑶ 幹　　事	20 名	0 名	0 名	0 名	20 名
⑷ 評 議 員	250 名	6 名	6 名	0 名	250 名
⑸ 正会員代表	200 名	14 名	14 名	0 名	200 名
⑹ 事務局職員	15 名	0 名	0 名	0 名	15 名

3.　国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (Korea)
Anthony N. DeMaria (USA)
Sam-Soo Kim (Korea)
Ock-Kyu Park (Korea)
Sidney C. Smith, Jr (USA)
James T Willerson III (USA)
A. John Camm (UK)
Kim Fox (UK)
Spencer B. King, III (USA)
John Ross Jr (USA)
Karl Swedberg (Sweden)
Jay N. Cohn (USA)
David T Kelly (Australia)
William John McKenna (UK)
Shahryar A Sheikh (Pakistan)
A. Jamil Tajik (USA)

4.　物故会員（敬称略）

⑴ 名誉会員　（該当無し）
⑵ 特別会員　（該当無し）
⑶ 一般会員　青崎　登　青野　正　安部　敬亮　五十嵐　寛　井田　正彦
井上　清　大東　正明　鎌田　満喜　齋藤　春雄　定　利勝
丹野　恒明　土田　貴也　遠山　歓　長田　義之　長津　正芳
濱本　紘　藤井　裕之　松本　進作　三浦　健　百瀬　元一
湯浅　伸郎　横山　正義　吉竹　毅　和田　光夫

Ⅱ　会議の事項

⑴ 第 74 回 総 会：2010年３月６日　京都府・国立京都国際会館
⑵ 理 事 会：2009年６月19日　東京都・東京国際フォーラム
2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
2010年１月22日　東京都・東京ステーションコンファレンス
2010年３月４日　京都府・ホテルグランヴィア京都
⑶ 評 議 員 会：2010年３月５日　京都府・国立京都国際会館
⑷ 総 務 委 員 会：2009年６月19日　東京都・東京国際フォーラム
2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
（拡大総務委員会として開催）　2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
2010年１月22日　東京都・東京ステーションコンファレンス
2010年３月４日　京都府・ホテルグランヴィア京都
・規 約 審 議 部 会：2009年５月11日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2009年７月６日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑸ 財 務 委 員 会：2009年６月11日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2009年10月16日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2010年１月15日　京都府・(社)日本循環器学会事務局

		2010年２月25日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑹	監　　査　　会：	2009年６月11日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2009年10月16日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2010年１月15日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2010年２月25日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑺	予　算　委　員　会：	2009年12月７日	大阪府・ホテルラフォーレ新大阪
⑻	編　集　委　員　会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
⑼	学　術　委　員　会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年９月18日	北海道・ロイトン札幌
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
⑽	専門医制度委員会：	2009年９月25日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
	・認定試験委員会：	2009年９月24日	東京都・東京国際フォーラム
	・専門医編集委員会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
	・専門医実務委員会：	2009年４月４日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2009年７月１日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2009年12月４日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2010年２月27日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑾	教育研修委員会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
	・禁煙推進委員会：	2009年９月29日	愛知県・名古屋マリオットアソシアホテル
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
⑿	健保対策委員会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年９月19日	北海道・ロイトン札幌
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月６日	京都府・ホテルグランヴィア京都
⒀	心臓移植委員会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
	・適応検討小委員会：（開催無し）		
	・心肺同時移植適応検討小委員会：（開催無し）		
⒁	医療安全・医療倫理委員会：	2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
⒂	情報広報委員会：	2009年６月19日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
	・ホームページコンテンツ小委員会：（開催無し）		
⒃	国際交流委員会：	2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・ホテルグランヴィア京都
⒄	ＷＣＣ招致委員会：	2009年５月21日	京都府・国立京都国際会館
		2009年９月14日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
		2009年10月23日	東京都・東京国際フォーラム
		2010年１月22日	東京都・東京ステーションコンファレンス
		2010年３月４日	京都府・国立京都国際会館

⒅ 支　部　長　会　議：（開催無し）
⒆ 学術集会運営委員会：2009年６月19日　東京都・東京国際フォーラム
2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
2010年３月４日　京都府・ホテルグランヴィア京都
⒇ 学術集会プログラム委員会：2009年９月18日　北海道・ロイトン札幌
2009年12月18日　大阪府・新大阪ワシントンホテルプラザ
㉑ 用　語　委　員　会：2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
2010年３月４日　京都府・ホテルグランヴィア京都
㉒ コメディカル委員会：2009年６月９日　東京都・東京ステーションコンファレンス
2010年１月７日　東京都・東京ステーションコンファレンス
㉓ 国内交流委員会：（開催無し）
・ICD-CRT研修制度協議会：
2009年６月16日　東京都・東京ステーションコンファレンス
㉔ 循環器救急医療委員会：2009年５月22日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2009年10月23日　東京都・東京国際フォーラム
・ＡＥＤ検討委員会：2009年９月25日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
・蘇生科学小委員会：2009年９月18日　北海道・ロイトン札幌
2010年３月６日　京都府・国立京都国際会館
・循環器救急医療制度小委員会：（開催無し）
・JCS-ITC運営小委員会：（開催無し）

1. 日本循環器学会年次学術集会

第74回日本循環器学会総会・学術集会(JCS2010)
会期：2010年３月５日(金)～７日(日)
会長：北　　徹(神戸市立医療センター中央市民病院)
会場：国立京都国際会館，グランドプリンスホテル京都
メインテーマ：
知の集約による真理の探求－基礎と臨床の融合－
Exploring Uncharted Depths in Cardiovascular Medicine: Basic and Clinical Medicine Unified

一般演題(口述，ポスター，Featured Research Session)

美甘レクチャー
Protease-Activated Receptors in Hemostasis and Thrombosis and Beyond
Shaun R. Coughlin (University of California, San Francisco, USA)

真下記念講演
Induction of Pluripotency by Defined Factors
山中伸弥(京都大学再生医科学研究所)

特別講演
1．Hypertrophic Cardiomyopathy: The First 50 Years and the Next
Barry J. Maron (Hypertrophic Cardiomyopathy Center, Minneapolis Heart Institute Foundation, USA)
2．Improving Clinical Outcome in High-risk Cardiac Patients: The MADIT Family of Trials
Arthur J. Moss (University of Rochester Medical Center, USA)
3．Vagal Stimulation for Heart Diseases: From Animals to Men *An Example of Translational Cardiology*
Peter J. Schwartz (University of Pavia, Fondazione IRCCS Policlinico San Matteo, Italy)
4．MicroRNA Control of Cardiovascular Development and Disease
Eric N. Olson (The University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas, USA)
5．Cardiogenesis from Human Embryonic Stem Cells: Mechanisms and Applications
Charles E. Murry (University of Washington, USA)
6．The Converging Power of Stem Cells, MicroRNAs and Genomics in Cardiovascular Disease
Deepak Srivastava (University of California San Francisco, USA)
7．Role of ABC Transporters in Atherosclerosis and Foam Cell Formation
Alan R. Tall (Columbia University, USA)
8．Macrophages, Oxysterols and Atherosclerosis
Christopher K. Glass (University of California, San Diego, USA)
9．ISAR: A story of Trials with Impact on Practice
Adnan Kastrati (Catheterization Laboratory, Deutsches Herzzentrum München, Germany)
10．Cardiovascular Effects of Drugs to Treat Diabetes Mellitus
Steven E. Nissen (Cleveland Clinic Foundation, USA)
11．Therapeutic Destruction of Myocardium: Cure or Perversion?
Ulrich Sigwart (University of Geneva, Switzerland)

会長講演
Molecular Mechanisms of Atherosclerosis
北　　徹(神戸市立医療センター中央市民病院)

プレナリーセッション
1．エビデンスに学ぶ慢性冠動脈疾患の治療戦略
(Therapeutic Strategy for Stable Coronary Artery Disease: Lessons from Worldwide Evidence)
2．粥状硬化の退縮～その分子機構から臨床まで
(Regression of Atherosclerosis: From Molecular Mechanism to Clinical Significance)
3．心臓突然死の現状と対策
(Cardiac Sudden Death: Clinical Evidence and Treatment)
4．心筋症UP to DATE
(Cardiomyopathy UP to DATE)
5．再生医療2010
(Cardiovascular Regenerative Medicine 2010)

シンポジウム
1．急性冠症候群発症：粥腫破綻後の血栓形成の分子機構
(Pathogenesis of Atherothrombosis －Aspect of Thrombus Formation－)
2．急性冠症候群の急性期治療：最新の知見
(Therapeutic Strategy for Acute Coronary Syndrome: An Up-date)
3．脂質異常症治療の新展開
(Current Progress in the Management of Dyslipidemia)
4．遺伝性不整脈の診断と治療
(Inherited Arrhythmias: Diagnosis and Treatment)
5．心房細動治療のUP to DATE
(Current Therapeutic Approach to Atrial Fibrillation)
6．拡張不全と心リモデリングの分子機序
(Molecular Mechanisms of Diastolic Heart Failure and Remodeling)
7．重症心不全治療における内科と外科の協調
(Coordination of Cardiologists and Cardiac Surgeons in the Treatment of Severe Heart Failure)
8．心臓再同期療法の適応と課題
(Indication and Unsolved Issues in Cardiac

Resynchronization Therapy）
9．難治性高血圧を解く
（New Approach to Resistant Hypertension）
10. JSH2009を検証する
（Optimization of Antihypertensive Treatment in the JSH2009 Era）
11. 再生医療基礎研究の最前線
（Recent Progress of Basic Research in the Field of Cardiovascular Regeneration）
12. ACSの冠動脈画像診断の進歩
（Advancement of Coronary Artery Imaging in Acute Coronary Syndrome）
13. 弁膜症治療の新しい展開
New Strategies for the Treatment of Valvular Heart Disease
14. 一次・二次予防のための生活習慣改善ストラテジー
（Lifestyle Change Strategies for Primary and Secondary Prevention of Cardiovascular Disease）
15. リスク予知のためのバイオマーカーの意義
（Potential Biomarkers in Predicting Coronary Heart Disease Risk）
16. 循環器領域における診療報酬の問題点～国際的視点から考える～
（Optimizing Medical Fees for the Treatment of Cardiovascular Diseases in Japan－From an International Viewpoint）
17. 蓄積された日本人のEBM
（Accumulating Evidence of Cardiovascular Disease Prevention and Treatment in Japanese Population）
18. 成人心房中隔欠損症の治療
（Medical and Surgical Management of Adult Atrial Septal Defect）
19. 学校健診は突然死と生活習慣病を防止できるか
（Does the School Screening System Decrease Cardiac Sudden Death and Lifestyle-related Disease ?）
20. 多様化する女性循環器医の職場環境への対応
（How to Provide Better Working Environments for Women Cardiologists in Various Positions）
21. 循環器疾患における性差医療
（Cardiovascular Treatments Considering Gender Differences）
22. 医療崩壊に対応する～若手医師に魅力的な循環器臨床研修制度のあり方～
（The Attractive Method for the Young Doctors in Clinical Training System of Cardiology for the Correspondence to Breakdown of Medical Service）
23. 閉塞性動脈硬化症治療の最前線
（New Horizon of Treatment for Peripheral Arterial Disease）
24. 大動脈疾患治療UP-to-DATE
（The Up to Date of The Treatment of Aortic Disease）

ジョイントシンポジウム
1．AHA-JCS Joint Symposium
Update of Stem Cell and Gene Therapy for Cardiovascular Disease
2．ACC-JCS Joint Symposium
Unusual Cardiomyopathy
3．ESC-JCS Joint Symposium
Recent Progress of Detection and Treatment of Ischemic Heart Disease in Diabetes
4．APSC-JCS Joint Symposium
Detection of Unstable Plaques and Assessment of Responses to Treatment ～Advance in Imaging～

ラウンドテーブルディスカッション
1．急性心不全症候群の新知見
2．失神へのアプローチ
3．受動喫煙防止法は急性冠症候群を減少させる
4．大動脈弁狭窄症治療の最前線
5．スタンフォードB型大動脈解離の治療戦略

トピック
1．冠動脈ステントの現状と将来
2．心不全治療標的としての代謝リモデリング
3．心エコー法における技術革新
4．心血管疾患予防のための炎症の制御
5．動脈硬化・リポ蛋白受容体研究の歴史に学ぶ
6．心血管疾患予防における「栄養」のエビデンス
7．CKD患者の脳・心血管イベント抑制のストラテジー
8．糖尿病における代謝調節と心血管イベント予防
9．メタボリックシンドロームの最前線－基礎から臨床－
10. 循環器系老化の分子機構
11. 分子イメージング法がもたらす循環器研究の発展
12. microRNAと循環器疾患
13. 頻発する心室性期外収縮へのアプローチ
14. 心血管イベント予防のための脂質管理目標はLDLのみで十分か
15. 高血圧から慢性心不全への移行を如何に遅らせるか

コントロバーシー
1．心筋虚血の診断に最適なモダリティーとは？
2．心房細動治療：レートコントロールかリズムコントロールか？
3．冠動脈ステントの選択：ベアメタルステントか？薬剤放出性ステントか？

ミート・ザ・エキスパート
1．次世代CTによる冠動脈診断の可能性
2．冠動脈イメージングの新展開～進化するOCT

・IVUS技術～
3．循環器疾患治療標的としてのミトコンドリア
4．蘇生と救急心血管治療
5．川崎病の冠動脈後遺症－発症予防と成人期冠疾患の治療戦略－
6．癌化学療法の進歩と随伴する心血管合併症
7．循環器病研究におけるシミュレーション医学

モーニングレクチャー
1．偽腔閉塞型急性大動脈解離
2．下肢深部静脈血栓症の予防と管理
3．腎動脈狭窄の評価と治療戦略
4．肺動脈性肺高血圧症の治療戦略
5．造影剤腎症の予防と管理
6．急性冠症候群の治療
7．大動脈炎症候群の診断と治療
8．大動脈弁狭窄症に合併する消化管出血～Heyde症候群について～
9．iPS細胞の基礎知識
10．改正移植法案により我が国の移植医療はどのようにかわるか
11．拡張不全の診断と治療
12．CTとMRIによる心筋バイアビリティーの評価
13．心不全のデバイス治療－現状と展望－
14．弁膜症の内科・外科治療Update
15．心内膜心筋生検－いつ・どのような患者に？－
16．肺気腫の治療の進歩と肺気腫合併心疾患の治療戦略
17．高中性脂肪血症と低HDL血症をどう治療するか
18．CKD患者をどう管理するか
19．循環器疾患を合併した糖尿病をどう管理するか
20．楽しく禁煙！－禁煙最新情報－
21．高齢者の高血圧治療薬をどのように選ぶべきか
22．最新の血管内皮機能評価法
23．心不全患者の心臓リハビリテーション
24．心房細動の初期治療
25．神経調節因性失神の診断と治療
26．無症候性Brugada型心電図をどう扱うか
27．心電図を使いこなす－12誘導からホルター・TWA・LPまで－
28．デバイス植え込み手術の基本とコツ
29．抗不整脈薬の使い方－基礎知識と注意点－
30．超音波による下肢静脈血栓症評価の実際
31．超音波による腎動脈狭窄評価の実際

Late Breaking Clinical Trials 1～3

会長特別企画
1．メディカル・コメディカルジョイントシンポジウム
2．フォーカスセッション1～6
3．プレセッション
4．全国の地域コホート研究から本邦における急性冠症候群の実態を探る
5．Laboratories Run
6．コメディカル奨励賞審査講演会

市民公開講座
「自分でできる心筋梗塞，脳梗塞の予防！～専門家に聞く生活習慣病対策の秘訣～」

第38回循環器教育セッション
Ⅰ．ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科手術
Ⅱ．睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患
Ⅲ．炎症と循環器疾患

学術委員会セッション
ガイドラインに学ぶ1・2
ガイドライン解説1～4

国際交流委員会セミナー
China-Japan Cardiovascular Forum 2010
Preventive Cardiology in China and Japan
WHF-JCS Joint Session
Characterizing and Impacting Cardiovascular Disease.
APSCポスターセッション

保険医療セミナー

第6回心臓移植セミナー
「改正臓器移植法施行後の心臓移植医療～システムの構築とその問題点」

第9回医療安全・医療倫理に関する講演会
「医療事故を検証する」

第9回禁煙推進セミナー
「禁煙治療の現状と発展」

蘇生科学シンポジウム

第8回心肺蘇生法市民公開講座

第8回禁煙推進のための市民公開講座

コメディカルセッション

教育講演
1．循環器救急医療の現状と将来をみる：救命の連鎖
2．心臓リハビリテーションにおける運動指導の実際
3．末梢血管疾患の集学的ケア
4．ここまでわかる循環器疾患の非侵襲的画像診断
5．心エコー図をどう見て，どう生かすのか？

シンポジウム
1．コメディカル認定制度のあり方
2．植込み型除細動器（ICD/CRT-D）など
3．循環器疾患患者の生活指導の実際
4．循環器疾患患者の終末期ケア

サテライトセミナー（ランチョンセミナー，ファイアサイドセミナー）

機器，書籍展示

第35回日本心臓財団「佐藤賞」
選考委員長　北　　徹（神戸市立医療センター中央市民病院）
・南野　徹（千葉大学循環病態医科学）
心血管系の老化と再生

第27回Young Investigator's Award　　●最優秀賞
選考委員長　小川　聡（国際医療福祉大学三田病院）

●徳留　健（国立循環器病センター研究所高血圧研究室）
Importance of Guanylyl Cyclase-A, a Receptor for Atrial and Brain Natriuretic Peptides, in Reparative Vascular Remodeling and in Embryonic Vascular Development
・武田憲文（東京大学循環器内科）
Cardiac Fibroblasts are Essential for The Adaptive Response of The Heart to Pressure Overload
・上田和孝（千葉大学循環病態医科学）
Sonic Hedgehog is a Critical Mediator of Erythropoietin-Induced Cardiac Protection
・遠藤　仁（慶應義塾大学循環器内科）
Metabolic Remodeling Induced by Mitochondrial Aldehyde Stress Stimulates Tolerance to Oxidative Stress in the Heart
・佐藤公雄（東北大学循環器内科（循環器病態学分野））
Emerging Importance of the Erythropoietin/Erythropoietin Receptor System and Cyclophilin A as Novel Therapeutic Targets in Cardiovascular Medicine

第８回国際留学生YIA
選考委員長　鄭　忠和（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器呼吸器代謝内科学）
・焦　其彬（横浜市立大学循環制御医学）
Sarcalumenin plays a critical role in age-related cardiac dysfunction due to decreases in SERCA2a expression and activity
●寥　千恵（千葉大学循環病態医科学）
Cardiac mast cells cause atrial fibrillation through PDGF-A-mediated fibrosis in pressure-overloaded hearts
・趙　　芫（北海道大学核医学分野）
Unstable plaques can be imaged utilizing F-FDG and Tc-annexin A5, owing to the presence of metabolically active and apoptotic macrophages
・李　　萍（名古屋大学循環器内科）
Fenofibrate mediates angiogenesis in response to ischemia via adiponectin-mediated LKB1/AMPK dependent mechanism
・Rajarajan A Thandavarayan（新潟薬科大学薬学部）
Modulation of doxorubicin-induced cardiac dysfunction in dominant negative p38 alpha mitogen-activated protein kinase mice

第19回八木賞
選考委員長　鄭　忠和（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器呼吸器代謝内科学）
・西村　智（東京大学循環器内科）
$CD8^+$ Effector T Cells Contribute to Macrophage Recruitment and Adipose Tissue Inflammation in Obesity

第18回CPIS賞
選考委員長　堀江　稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）
・渡部　裕（新潟大学大学院医歯学総合研究科器官制御医学講座循環器学分野）
Flecainide Prevents Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia in Mice and Humans

第10回高安賞
選考委員長　松﨑益徳（山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学）
・野﨑俊光（熊本大学大学院医学薬学研究部循環器病態学）
Significance of a Multiple Biomarkers Strategy Including Endothelial Dysfunction to Improve Risk Stratification for Cardiovascular Events in Patients at High Risk for Coronary Heart Disease

第５回心臓血管外科賞
選考委員長　坂田隆造（京都大学病院心臓血管外科）
・齊藤幸裕（旭川医科大学外科学講座循環・呼吸・腫瘍病態外科学）
Critical Roles of Cold Shock Domain Protein A as an Endogenous Negative Regulator of Angiogenesis in Skeletal Muscle

第５回小児循環器賞
選考委員長　佐野俊二（岡山大学大学院医歯学総合研究科心臓血管外科）
・赤池　徹（カリフォルニア大学ロサンゼルス校医学部麻酔学科分子医学講座）
T-type Ca^{2+} Channels Promote Oxygenation-induced Closure of the Rat Ductus Arteriosus Not Only by Vasoconstriction but Also by Neointima Formation

第４回循環器再生医科学賞
選考委員長　永井良三（東京大学循環器内科）
基礎研究部門
・川村晃久（京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット）
Linking The p53 Tumor Suppressor Pathway to Somatic Cell Reprogramming
臨床研究部門
・該当者なし

第３回女性研究者奨励賞
選考委員長　島本和明（札幌医科大学附属病院第二内科）
・横尾さとり（慶応義塾大学再生医学教室）
Glucocorticoid Protects Rodent Hearts from Ischemia/Reperfusion Injury by Activating Lipocalin-type Prostaglandin D Synthase-derived PGD_2 Biosynthesis

第６回Circulation Journal Award
選考委員長　下川宏明（東北大学循環器病態学）
Clinical Investigation
最優秀賞
・Zhulanqiqige Do.e（東北大学循環器病態学）
Evidence for Rho-Kinase Activation in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension（Circ J 2009; 73: 1731-1739）
優秀賞
・福永　崇（熊本大学医学部附属病院循環器内科）
High Ratio of Myeloid Dendritic Cells to Plasmacytoid Dendritic Cells in Blood of Patients With Acute Coronary Syndrome（Circ J 2009; 73: 1914-1919）

Experimental Investigation
最優秀賞
・新谷　香（東京大学法医学教室）
Ischemia Enhances Translocation of Connexin43 and Gap Junction Intercellular Communication, Thereby Propagating Contraction Band Necrosis After Reperfusion（Circ J 2009; 73: 1661-1668）
優秀賞
・川上　哲（東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所）
Antioxidant, EUK-8, Prevents Murine Dilated Cardiomyopathy（Circ J 2009; 73: 2125-2134）
Best Reviewers of the Year 2009
選考委員長　下川宏明（東北大学循環器病態学）
・浅沼博司（近畿大学医学部附属病院救急診療科）
・真田昌爾（国立循環器病センター臨床研究開発部）
・石原正治（広島市立広島市民病院循環器科）
・藤木　明（富山大学第二内科）
・庭野慎一（北里大学循環器内科学）
・大手信之（名古屋市立大学心臓・腎高血圧内科学）
・木村彰方（東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野）
・上松正朗（労働者健康福祉機構関西労災病院循環器科）
・古川哲史（㈶東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理）
・川崎雅規（岐阜大学第二内科）

2.　日本循環器学会地方学術集会

第101回北海道地方会
会期：2009年６月13日（土）
会場：旭川市大雪クリスタルホール（旭川市）
会長：長谷部直幸（旭川医科大学循環・呼吸・病態内科学分野）
参加人数：150名
発表演題：32題
第102回北海道地方会
会期：2009年10月17日（土）
会場：札幌教育文化会館（札幌市）
会長：筒井裕之（北海道大学循環病態内科学）
参加人数：280名
発表演題：50題
第148回東北地方会
会期：2009年６月６日（土）
会場：岩手医科大学循環器医療センター（盛岡市）
会長：伊藤　宏（秋田大学循環器内科学，呼吸器内科学）
参加人数：132名
発表演題：58題
第149回東北地方会
会期：2009年12日12日（土）
会場：仙台国際センター（仙台市）
会長：久保田功（山形大学医学部内科学第一講座）
参加人数：188名
発表演題：73題
第212回関東甲信越地方会
会期：2009年６月13日（土）
会場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会長：大鈴文孝（防衛医科大学校循環器内科）
参加人数：893名
発表演題：98題
第213回関東甲信越地方会
会期：2009年９月26日（土）
会場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会長：橋本裕二（亀田総合病院循環器内科）
参加人数：743名
発表演題：97題
第214回関東甲信越地方会
会期：2009年12月５日（土）
会場：ベルサール八重洲（中央区）
会長：杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）
参加人数：816名
発表演題：112題
第215回関東甲信越地方会
会期：2010年２月６日（土）
会場：ベルサール八重洲（中央区）
会長：小林洋一（昭和大学循環器内科）
参加人数：未定
発表演題：未定
第133回東海地方会
会期：2009年６月13日（土）
会場：三重県医師会館　赤十字血液センター（津市）
会長：中村真潮（三重大学循環器内科学）
参加人数：368名
発表演題：49名
第118回北陸地方会
会期：2009年７月５日（日）
会場：福井県国際交流会館（福井市）
会長：青山隆彦（福井県立病院循環器科）
参加人数：150名
発表演題：66題
第134回東海・第119回北陸合同地方会
会期：2009年11月７日（土）～８日（日）
会場：愛知県産業労働センター（名古屋市）
会長：木村玄次郎（名古屋市立大学臨床病態内科学）
参加人数：705名
発表演題：183題
第107回近畿地方会
会期：2009年６月20日（土）
会場：大阪国際交流センター（大阪市）
会長：野原隆司（㈶田附興風会医学研究所北野病院循環器内科）
参加人数：1,119名
発表演題：199題
第108回近畿地方会
会期：2009年12月５日（土）
会場：和歌山県民文化会館，ホテルアバローム紀の国（和歌山市）
会長：赤阪隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
参加人数：564名
発表演題：180題
第94回中国・四国合同地方会
会期：2009年６月26日（金）～27日（土）

会場：高知市文化プラザかるぽーと（高知市）
会長：岡部　学（高知医療センター心臓血管外科）
参加人数：457名
発表演題：214題
第95回中国地方会
会期：2009年11月28日（土）
会場：ホテルオークラ岡山（岡山市）
会長：伊藤　浩（岡山大学医歯薬学総合研究科循環器内科学）
参加人数：443名
発表演題：158題
第95回四国地方会
会期：2009年12月12日（土）
会場：徳島県郷土文化会館（徳島市）
会長：日浅芳一（徳島赤十字病院副院長）
参加人数：未定
発表演題：未定
第106回九州地方会
会期：2009年６月27日（土）
会場：北九州国際会議場（北九州市）
会長：尾辻　豊（産業医科大学第二内科）
参加人数：509名
発表演題：111題
第107回九州地方会
会期：2009年12月５日（土）
会場：宮崎県農協会館　JA　AZMホール（宮崎市）
会長：北村和雄（宮崎大学内科学講座循環体液制御学分野）
参加人数：366名
発表演題：105題

3.　学術研究班

1．拡張型心筋症ならびに関連する二次性心筋症の診療に関するガイドライン
（班長：友池仁暢）
2．循環器領域における性差医療に関するガイドライン
（班長：鄭　忠和）
3．循環器領域における睡眠無呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン
（班長：百村伸一）
4．循環器疾患における末期医療に関するガイドライン
（班長：野々木宏）
5．冠動脈疾患におけるインターベンション治療の適応ガイドライン－待機的PCI－（改訂版）
（班長：藤原久義）
6．循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン（改訂版）
（班長：吉田　清）
7．心臓核医学検査ガイドライン（改訂版）
（班長：玉木長良）
8．心臓突然死の予知と予防法のガイドライン（改訂版）
（班長：相澤義房）
9．心疾患患者の妊娠・出産の適応，管理に関するガイドライン（改訂版）
（班長：丹羽公一郎）
10．慢性虚血性心疾患の診断と病態把握のための検査法の選択基準に関するガイドライン（改訂版）
（班長：山岸正和）
11．慢性心不全治療ガイドライン（改訂版）
（班長：松崎益徳）
12．禁煙ガイドライン（改訂版）
（班長：室原豊明）
13．24時間血圧計の使用（ABPM）基準に関するガイドライン（改訂版）
（班長：島田和幸）

4.　循環器関連学会

第39回日本心臓血管外科学会
会期：2009年４月22日（水）～24日（金）
会場：富山国際会議場（富山市）
会長：三崎拓郎（富山大学第一外科）
第45回日本循環器管理研究協議会・日本循環器病予防学会
会期：2009年６月５日（金）～６日（土）
会場：横浜シンポジア（横浜市）
会長：和泉　徹（北里大学医学部循環器内科学）
第18回日本心血管インターベンション学会
会期：2009年６月25（木）～27日（土）
会場：ロイトン札幌・札幌厚生年金会館（札幌市）
会長：五十嵐慶一（北海道社会保険病院心臓内科）
第24回日本不整脈学会
会期：2009年７月２日（木）～４日（土）
会場：国立京都国際会館（京都市）
会長：鎌倉史郎（国立循環器病センター心血管内科）
第26回日本心電学会
会期：2009年７月２日（木）～４日（土）
会場：国立京都国際会館（京都市）
会長：堀江　稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）
第45回日本小児循環器学会
会期：2009年７月15日（水）～17日（金）
会場：神戸国際会議場（神戸市）
会長：八木原俊克（国立循環器病センター心臓血管外科）
第41回日本動脈硬化学会
会期：2009年７月17日（金）～18日（土）
会場：海峡メッセ下関（下関市）
会長：松崎益徳（山口大学器官病態内科学）
第15回日本心臓リハビリテーション学会※
会期：2009年７月18日（土）～19（日）
会場：東京ファッションタウン（江東区）
会長：伊東春樹（（財）日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院）
第57回日本心臓病学会
会期：2009年９月18日（金）～20（日）
会場：ロイトン札幌・札幌厚生年金会館（札幌市）
会長：島本和明（札幌医科大学内科学第二）

第32回日本高血圧学会
会期：2009年10月１日(木)～３日(土)
会場：大津プリンスホテル(大津市)
会長：上島弘嗣(滋賀医科大学福祉保健医学)
第62回日本胸部外科学会
会期：2009年10月11(日)～14日(水)
会場：パシフィコ横浜(横浜市)
会長：四津良平(慶應義塾大学心臓血管外科)
第50回日本脈管学会
会期：2009年10月29日(木)～31日(土)
会場：ハイアットリージェンシー東京(新宿区)
会長：重松　宏(東京医科大学第二外科)
第13回日本心不全学会
会期：2009年10月30日(金)～11月１日(日)
会場：福岡国際会議場(福岡市)
会長：今泉　勉(久留米大学心臓・血管内科)
第23回日本冠疾患学会
会期：2009年12月18日(金)～19日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：(内科系)南都伸介(関西労災病院循環器科)
(外科系)澤　芳樹(大阪大学心臓血管呼吸器外科)
第40回日本心臓血管外科学会
会期：2010年２月15日(月)～17日(水)
会場：神戸国際会議場・神戸国際展示場(神戸市)
会長：大北　裕(神戸大学大学心臓外科)

5. 循環器専門医制度

⑴ 循環器専門医認定：2009年８月23日，東京ビックサイト(東京)，梅田スカイビル(大阪)の２会場で第20回循環器専門医試験を実施，認定者は598名(2010年４月１日認定).
⑵ 循環器専門医認定更新：循環器専門医2,726名の認定更新(2010年４月１日更新)が承認された.
⑶ 循環器研修施設指定：指定循環器研修施設として43施設の指定(2010年４月１日指定)が承認された.
⑷ 循環器研修関連施設指定：指定循環器研修関連施設として42施設の指定(2010年４月１日指定)が承認された.
⑸ 循環器研修施設指定更新：循環器研修施設として512施設の指定更新(2010年４月１日更新)が承認された.
⑹ 循環器研修関連施設指定更新：循環器研修関連施設として102施設の指定更新(2010年４月１日指定)が承認された.
※⑵～⑹は2010年１月31日までに申請・審査を完了した数を掲載しております.
⑺ 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会からVol.17 No.2を出版．Vol.18 No.1を出版予定．Vol.17 No.2は特集「第73回日本循環器学会学術集会」(B5判201頁) Vol.18 No.1は特集Ⅰ「基礎科学の進歩」特集Ⅱ「第73回日本循環器学会学術集会」

6. 海外循環器関連学会

⑴ 17th Asian Pacific Congress of Cardiology, 20-23 May, 2009：Kyoto, Japan
⑵ 31st European Society of Cardiology, 29 Aug.-2 Sep., 2009：Barcelona, Spain
⑶ American Heart Association 82nd Scientific Session, 14-18 Nov., 2009：Orlando, United States
⑷ American College of Cardiology 59th Annual Scientific Session, 14-16 March, 2010：Atlanta, United States

7. 機関誌刊行

⑴ 機関紙Circ. J. Vol.73 2009年は12冊2,426頁，平均発行部数約20,410部，原著投稿論文356件2,360頁(97.3%)，その他66頁(2.7%)を掲載.
⑵ Circ. J. Supplementは(1,674頁，平均発行部数23,400部)，英文誌２冊と和文誌２冊の合計４冊，以下に内容を記す；英文誌Surgical Treatment for Congestive Heart Failure 2009 Overview，Review Article 11件67頁(4.0%)，年次学術集会英文抄録2,761件882頁(52.7%)，地方会学術集会抄録1,075件128頁(7.6%)，学術委員会ガイドライン581頁(34.7%)，その他16頁(1.0%)を掲載.
⑶ 2008年の投稿論文は，受付1,211件(内有効論文1,173件)，内2010年１月20日現在までの採用は376件，不採用712件，修正中及び修正期限切れ85件で，採択率は34.5%であった.
⑷ 2009年の投稿論文は，2010年１月20日現在までの受付1,048件(内有効論文1,016件)，採用は301件，不採用558件，審査及び修正中157件であった.
査読にはEditorial Boardを含め761名(12号掲載)がその任務にあたった.
⑸ 2008年の Impact factor は，2.387であった.
⑹ 『循環器専門医』Vol.17 No.2を専門医編集委員会から出版，2010年３月にVol.18 No.1を出版予定，B5判，和文誌.

8. その他の事業報告

⑴ 新公益法人制度移行に関する検討
新しい公益法人制度に移行するための定款変更案等の準備・学会組織の検討を行った.
⑵ 学会関係規約の制定
会員の処分等に関して，新たに処分規程を作成し，対応委員会として「医道委員会」を設置した.
⑶ ガイドライン作成
2007－2008年度活動４班と2005－2008年度活動１班のガイドライン本編とそのダイジェスト版をCJ Supplementとして制作し，ホームページ上にも公開した．また，第74回学術集会時に「ガイドライン解説」セッションを開催した．2008－2009年度活動３班と2008年度活動改訂版４班についても第74回学術集会時に「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した.

⑷ 循環器疾患診療実態調査
全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する3,863施設に調査依頼を行い，Webを用いて調査を行った．調査対象期間は2008年１月１日～12月の１年間で，1,519施設(39.3％)から回答が寄せられた．

⑸ Translational Research振興事業
臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やTranslational Researchについて，我が国の先進医学研究に寄与することを目的に，１件の研究支援助成を行った．2009年度採択事業：「ヒトiPS細胞由来心筋樹立による家族性突然死症候群の病態解明と治療法の確立」福田恵一(慶應義塾大学再生医学教室)

⑹ ガイドライン英訳化
既存のガイドラインのうち海外に発信するものとして，意義の高いガイドラインを英訳化してホームページに掲載した．

⑺ 卒後教育研修用DVD「循環器研修ビジュアルシリーズ」「第37回循環器教育セッションDVD」の製作・販売
学会員の知識，技能の向上に資するため，DVDの企画・製作を行った．

⑻ 第５回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの実施
主に研修医を対象に，循環器学の面白さをアナライザーシステムを導入したレクチャーやグループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した．

⑼ 禁煙推進活動
第74回学術集会において医師向け第９回禁煙推進セミナー，第８回禁煙推進のための市民公開講座を開催した．

⑽ 診療報酬に関する調査
JCS独自の調査として，DPC実態調査を行い前回改定結果の検証および次回改定に向けてのデータ集積を行った．

⑾ 心臓移植委員会報告
１）臓器移植法改正に関して関連の各学会と協議し対応を行った．心臓移植実施施設の拡大に関する検討・認定審査，親族への優先提供に関する要望書などの検討を行い，厚労省に提出した．
２）第74回学術集会期間中に「改正臓器移植法施行後の心臓移植医療～システムの構築とその問題点」をテーマに第６回心臓移植セミナーを開催した．
３）全国の大学・大学校・短期大学・警察学校および自衛隊各地方部隊約1,300施設に，臓器提供意思表示カードと普及・啓発ポスターなどを配付し，臓器提供意思表示カード普及・啓発活動を行った．

⑿ 「医療安全・医療倫理に関する講演会(主催：医療安全・医療倫理委員会)」の開催
第74回学術集会期間中に「医療事故を検証する」をテーマに識者を招いて講演会を開催した．

⒀ 第73回学術集会コングレスレポートのホームページへの掲載
第73回学術集会における招請講演等のハイライトを学会の英文ホームページで報告した．また海外学会(AHA，APCC，ESC，GW-ICC)の日循ブースにてCD-R版を配布した．

⒁ 学会ニュースメールの配信
会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS Newsletter」を配信した．

⒂ プレスセミナーの開催
一般市民への啓発を目的として，プレスを対象としたセミナーを開催した．セミナーのテーマには「循環器疾患の救急医療」を取り上げた．

⒃ 海外学会との共同シンポジウム等の実施
１）AHA　AHAの公式プログラムの一部として，AHA-JCS Joint Seminarを開催した．
２）タイ心臓協会　タイ心臓病学会に演者を派遣した．
３）インドネシア心臓協会　インドネシア心臓病学会に演者を派遣した．

⒄ 海外学会への日循広報ブースの出展
第31回ESC，第20回GW-ICC，第82回AHAの展示会場にて，学会の広報ブースを設置した．

⒅ 国際名誉会員会員
第74回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行った．

⒆ 日本循環器学会ブースの出展
第74回学術集会の期間中，附設展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展した．

⒇ アジアからの学術集会参加者支援事業
アジア及びその他近隣諸国から日本循環器学会学術集会への参加者が増加することを目的に，2009年５月に開催されたアジア太平洋心臓病学会(北畠顕会長)にトラベルグラント助成を行った．

(21) World Heart Day (世界ハートの日)キャンペーン活動
World Heart Federationが提唱する心臓病予防の普及を目指す活動として，毎年９月の最終日曜日に「世界ハートの日」が設けられている．2009年９月27日(日)に「Work with Heart (健康ハートで働こう)をテーマに日本各地でキャンペーンが開催され，日本循環器学会として，日本心臓財団との共催で来場者に5,000名に腹部メジャーと心臓病予防啓発パンフレットを配布した．

(22) 留学支援助成事業
海外施設へ留学し，循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者に留学支援助成を行った．2009年度採択者：田中孔明(新潟大学第一内科)，河野隆志(慶応義塾大学循環器内科)

⑵③ 循環器学用語の検討
『循環器学用語集　第三版』の出版後最初の改定として，ホームページ上のデータの改定を行った．

⑵④ コメディカルに関する検討
コメディカル関係学協会との連携を深めるため，関係団体に委員推薦を依頼し，委員会の陣容を拡大した．

⑵⑤ ICD-CRT研修制度協議会第１回会合を開催し，規約を作成した．

⑵⑥ 心肺蘇生法普及活動
全国でAHA BLSヘルスケアプロバイダーコース，ACLSプロバイダーコース，ハートセイバーAEDコースを開催し，インストラクターの養成を積極的に行った．

⑵⑦ 循環器救急医療実態調査
蘇生科学小委員会が実施するレジストリ計画のための準備として，心原性ショックについてのアンケート調査を実施した．